

狛江市市民公益活動事業補助金

(スタート・チャレンジ補助金)

平成26年度選考会



平成26年 5月24日

狛江市役所 市民生活部 地域活性課

平成26年度 泊江市市民公益活動事業補助金 応募団体(全10団体)

頁	分類	団体名	事業名	事業内容	申請額
1	3	テラコヤ3	泊江キッズイベント 和太鼓体験ワークショップ ドンドンドン	昨年10月、イベントの一つとして考えた和太鼓体験のアイデアを、和太鼓演奏団体「きんたの会」さん、泊江市在住の和の演奏家「秀」さんにご協力を得ることで、本格的な形で開催することが出来た。言葉の街泊江で、日本の伝統的な和太鼓を爪山の子ども達に体験してもらい、今後毎年1回定期開催していきたいと考えています。そのほか、親子で楽しめる手作り楽器作りやその演奏会なども盛り込んで行きたいと思っています。	50,000
2	10	泊江の放射能を測る会	泊江市の放射能を測定する事業	現在行っている月1回の定点測定と、年1回の福島399号線に沿った測定を続けるとともに、放射能に関する講演会を開催し、その成果を広く市民に知らせる。	50,000
3	17	チャレンジ 継続	吃音サポート「ジークフリーツ」	【内容】吃音に詳しい言語聴覚士(ST)による無料相談を実施する。 【特色】成人吃音の相談場所が市内にない。市内でも少なく個人で相談先を見つけるのは困難。 【期待する効果】一人ひとりで悩んでいる当事者の支援として、孤立状態から一歩を踏み出すきっかけ作り。ご家族や周囲の相談も受け入れ、周囲が吃音理解を深めることでご本人の負担が軽減することも期待できる。	200,000
4	22	チャレンジ 新規	(認定NPO法人) ESAアジア教育支援の会	ESAは、バンダラデシやインドの極貧層の子ども達に対して教育支援を実施している。現地を訪問する度に多くの学びや気づきがある。その体験を日本人の方々、特に子どもたちに伝えることで海外協力事業の成果を国内に還元したいと考えている。これまでに7年間、泊江市立保育園と連携し、年長組対象の「お話し会」を実施。子どもたちにアジアの子どもの生活を紹介しながら「物の大切さ」や「学ぶことの大切さ」を伝えてきた。この国際理解講座の内容を編集し、今後どの教育機関でも同様の国際理解講座が実施できるように指導マニュアルを作成、配布し、泊江市の国際化に貢献したい。	200,000
5	28	チャレンジ 新規	泊江・まちづくり市民会議	今回の事業は、六郷さくら通り(旧・六郷用水跡)の水・緑・歴史を生かした「快適なまちづくり」をめざす計画。街路樹・西河原自然公園等の樹木、水神様・堺塚等の貴重な歴史遺産、そして家系園を中心とした人的ネットワークを生かして、地域住民と共に検討・企画を進めていく活動。	140,000
6	33	チャレンジ 新規	ヘルマンさんの会	日本に初めてドイツ風食肉加工技術をもたらしたヘルマン・ウオルシュケさんは第二次世界大戦後の20年間泊江に住み、高品質のハム・ソーセージを泊江から日本全国に送り届けていた。その波乱に満ちた生涯を泊江市民に知りて頂き、さらに泊江が情報発信基地になることを目指す。またヘルマンさん生誕の地、ドイツ・ゼンフェンベルク市と終焉の地泊江市の間で文化交流を図り、小中学生の教育にも役立てる努力をする。	200,000
7	38	チャレンジ 継続	チーム ピース チャレンジヤー 泊江支部	アジアのフェアトレード製品紹介とフェアトレードの必要性を泊江市民の方々に伝えるためのフェアトレード社会を描いた写真展の開催、TPCの活動を紹介する冊子製作、フェアトレード展、写真展、交流会の開催、冊子などの紹介により、アジアの経済的に困難な地域の子どもや女性達の生活や社会を市民の方々に伝えることが出来ます。市民の方々が、日常の生活の中では理解出来ない現地の様子を知らず、国際協力や国際支援を誤解できるようにあります。同時に今後の市民の方々の生活の改革や意識の向上に役立つよう市民に対して啓発し、今後の市民の輪を平和という和で繋げていきたいと思っています。	200,000
8	44	チャレンジ 新規	特定非営利活動法人・ バリアフリー・センター 福祉ネット「ナナの家」	前回は感覚統合に関する遊具や研修会費用を助成していただき、子どもたちの遊びが大変豊かになりました。今回はそこに乗りつらから静的疾患の子たちも楽しめる備品や絵本を申請させていただきました。仲間つくりや、みんなで楽しめようという思いを込めていきます。	200,000
9	56	チャレンジ 継続	市民ミュージカル「ドリーム キバー(仮題)」上演	・市民ミュージカルの上演を行う ・異年齢のメンバーが稽古を積み重ねる中でさまざまな交流が生まれる ・出演者だけでなく、スタッフも公募することで多岐にわたって市民間の交流が生まれる ・劇団の10年間の蓄積とプロのスタッフとの連携により他の市民劇団にはみられないウオリティの高いミュージカルを低料金で市民に提供できる	200,000
10	62	チャレンジ 継続	おにぎり少年団	泊江周辺の小中学生を中心に、月3回の活動を通じ、子ども達の考える力や生きる力を養う。その為、子ども達は毎月1回の行事に向けて月2回会議を行い、自分達で行事の内容や目標を定めていく。その活動の中で子ども達の父母や地域のの方々とも協力していき、泊江市全体と交流を持つことで、地域活性化に役立てる。 今年度は補助金により今まで行えなかった魅力的な行事を行い、少年団の団員増強、高学年の団員の成長・高校生指導員の定着を図りながら、地域とも密に関わり、少年団の成長を目指したい。	200,000

スタート補助金の部

テラコヤ3

様式第1号 (第8条関係)

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

26年 5月 12日

狛江市長あて

申請者 所在地 _____
団体名 テラコヤ3 _____
代表者氏名 中村 祐子 _____

26年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

- 1 事業名称 狛江キッズイベント 和太鼓体験ワークショップ ドンドコドン
- 2 事業費総額 65000 円
- 3 交付要望額 50000円

添付書類

- ① ■ 団体概要書 (様式第2号)
- ② ■ 事業計画書 (様式第3号)
- ③ ■ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ ■ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ ■ 団体構成員名簿 (任意様式)
- ⑥ その他必要と認める書類



団体概要書

フリガナ	テラコヤ サン		
団体名	テラコヤ3		
フリガナ	ナカムラ ユウコ		
代表者名	中村 祐子		
所在地 (事務所等)	住所	(〒)	
	電話	e-mail	
	FAX	HP	http://www.facebook.com/Terakoyacafe
連絡担当者	フリガナ	ナカムラ ユウコ	電話
	氏名	中村 祐子	
	住所	(〒)	
	e-mail		
設立年月日	平成24年2月22日		
設立目的	生まれ育った街ではない狛江で、初めての育児に直面した時、子育てしやすいと思えるには、近所に顔見知りのママ友を作ることが強い励みになると感じ、子育て中の母親同士の情報交換の場を作ることが目的として設立しました。		
主な活動内容 ・活動実績	<p>○主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、毎回テーマを変えて、主に未就学児童の親子を対象にイベントを開催しています。(参加者平均5組/回) ・年2回、西野川地域センターで大型絵本の読み聞かせを中心とした、おはなし会を開催しています。(参加者平均40組) <p>○前年度の活動実績(平成25年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～3月にかけて親子イベント7回開催(参加者計40組) ・10月、12月におはなし会を開催(参加者計80組) 		
主な活動地域	狛江市内	直近事業年度決算額 (支出総額) 25年度	45000円
会員数	3人 (うち市内 2人)	会費等	☑・有(年額・月額) _____ 円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	狛江キッズイベント 和太鼓体験ワークショップ ドンドコドン
<p>2 事業の目的(事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年10月、イベントの一つとして考えた和太鼓体験のアイデアを、和太鼓演奏団体「きんたの会」さん、狛江市在住の和の演奏家「秀」さんにご協力を得ることで、本格的な形で開催することが出来ました。音楽の街狛江で、日本の伝統的な和太鼓を沢山の子ども達に体験してもらえるように、今後は年1回定期開催していきたいと考えています。そのほか、親子で楽しめる手作り楽器作りやその演奏会なども盛り込んで行きたいと思っています。 	
3 事業の内容	
<p>① 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉小学校 多目的室 	
<p>② 対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児童とその保護者 	
<p>③ 告知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターの掲示や案内チラシの配布、団体ホームページ等により行う 	
<p>④ 具体的内容/事業実施体制</p> <p>「狛江キッズイベント 和太鼓体験ワークショップ ドンドコドン」(10月)</p> <p>(第一部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きんたの会さん・秀さんによる、和太鼓ライブ ・とにかく和太鼓を思いっきり叩いてみるワークショップ(親子で参加) <p>(第二部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で手づくり楽器を作ってみよう(持ち帰り可) ・音楽に合わせて演奏してみよう 	

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

- 9月 案内チラシ配布、ポスター掲示、団体ホームページにて告知
 10月 第1回ワークショップ開催

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

1	先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。
	未就学児童が参加できる、数少ない和太鼓ワークショップです。叩いたら音が出る太鼓を、思いっきり叩くという体験が、自ら音を奏でる始まりになり、そんな子どもの姿を間近で見ることが出来ます。
2	市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。
	子どもたちは、夏祭りなどを通して、和太鼓に大変興味を示すが、なかなか叩く機会は少ないです。実は大人でもあまり触れたことはないのではないのでしょうか。音楽の街狛江で、こうした試みに関心の有る市民の方は多いのではないかと考えております。
3	事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。
	事業計画内容の半分は、実施経験があり、昨年度の持ち出し部分の補填を予算内で計画しております。また、太鼓演奏の備品に関しましても、できるだけDIYにて低予算で検討しております。
4	事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。
	昨年度開催後、参加者の皆様から、定期開催を希望する声上がるなどしてございました。今年度の工作との二部構成でも、同様の反応が出るよう、努力致したいと考えております。
5	事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。
	既に、3団体(者)ともに自立して活動をしていて、その延長線上の協同活動であることから、全く問題はないと考えております。

補助申請をする事業の収支予算書

団体名 テラコヤ3

<収入の部>

項目	金額	内訳
狛江市市民公益活動事業補助金	50000円	
参加費	15000円	500円×30人
合計	65000円	

<支出の部>

項目	金額	内訳
消耗品費	5000円	事務用文具・チラシ/ポスター紙等
講師謝礼	10000円	5000円×2組
備品費	30000円	バチ・踏み台・おむつ替えマット
印刷代	5000円	チラシ・ポスター制作
予備費	15000円	
合計	65000円	

平成26年度 収支予算書

団体名 テラコヤ3

<収入の部>

項目	金額	内訳
前年度繰越金	20000円	
参加費	30000円	500円×60人
合計	50000円	

<支出の部>

項目	金額	内訳
消耗品費	10000円	事務用文具・チラシ/ポスター紙等
講師謝礼	8000円	2000円×4組
印刷代	5000円	チラシ・ポスター制作
予備費	7000円	
合計	30000円	

狛江の放射能を測る会

市民公益活動事業補助金 (スタート補助金) 申請書

2014年 5月 9日

様
狛江市長 ~~あ~~

申請者 所在地 _____

団体名 狛江の放射能を測る会

代表者氏名 西尾 真人

平成26年度市民公益活動事業 (スタート補助金) の交付を次のとおり申請します。

記

- | | |
|---------|-----------------------|
| 1 事業名称 | <u>狛江市の放射能を測定する事業</u> |
| 2 事業費総額 | <u>110,000</u> 円 |
| 3 交付要望額 | <u>50,000</u> 円 |

添付書類

- ① 団体概要書 (様式第2号)
- ② 事業計画書 (様式第3号)
- ③ 団体及び補助申請事業の収支予算書 (任意様式)
- ④ 団体の定款, 会則等 (任意様式)
- ⑤ 団体構成員名簿 (任意様式)
- ⑥ その他必要と認める書類



団体概要書

フリガナ	コマエノホウシヤノウチハカルカイ		
団体名	白江の放射能を測り子会		
フリガナ	ニシオ マサ ト		
代表者名	西尾 真人		
所在地 (事務所等)	住所	(〒)	
	電話		e-mail
	FAX		HP http://bit.ly/VySlma
連絡担当者	フリガナ	ニシオ マサ ト	
	氏名	西尾 真人	
	住所	(〒)	
	e-mail		
設立年月日	2012年 2月 日		
設立目的	<p>2011年3月11日の福島第一原発の事故から、原発が事故を起すおと、莫大の放射能が大気や海にまき散らされ、多くの人が日常生活を余儀なくされることになりました。白江でも電力中央研究所の測定によって0.21μS/hの放射能が測定されています。そこで毎月1回市内の定点で放射能を測定し、その地域に落して印刷し、小中学校保育園に配布し市民に安心感を与えることを目的の会を設立しました。</p>		
主な活動内容 ・活動実績	<p>○主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回 41地域の放射能を測定し、その結果を市民に知らせている ・毎月1回 例会を南き放射能について勉強会と南している ・年1回(中央公民館のつどいの時)「測定する会」のコーナーを南き市民に放射能の脅威などを啓蒙している ・年1回福島の実地調査を実施 <p>○前年度の活動実績(平成25年度) 前年活動をおこなう実施した</p>		
主な活動地域	白江市内と福島	直近事業年度決算額 (支出総額) 2013年度	148,419円
会員数	6人 (うち市内 6人)	会費等	無・有(年額・月額) 1,000円

事業計画書(1-1)

1 事業名称	放射能測定と放射能に関する講演会
2 事業の目的 (事業を実施する前提となった問題点, 社会背景, 期待される効果等を交え, 具体的に記入してください。)	<p>年1回の 現在行っている月1回の定桌測定と福島県の399号線に沿った測定を続けるとともに、放射能に関する講演会を開催し、その成果を広く市民に知らせる</p>
3 事業の内容	
① 実施場所	<p>定桌測定は市内、福島の現地測定は福島県 (報告のパンフレット作成) 講演は市内の公民館</p>
② 対象者	<p>白江市民及び放射能測定に関心を持つ方</p>
③ 告知方法	<p>測定結果のチラシ配布, 団体ホームページ等により行う</p>
④ 具体的内容/事業実施体制	<p>毎月1回の放射能測定と年1回の福島現地の放射能測定を継続する。現地調査の報告書作成 放射能に関する講演会を年1回開催し、放射能の危険性などを啓蒙する</p>

事業計画書(1-2)

4 事業実施スケジュール

毎月1回(月の中頃).測定員を3回取合せて実施
 毎月1回 各の結果をチラシにて配布
 毎月1回 例会を開催
 1月下旬 放射能に関する講演会開催
 4月上旬 福島現地調査(2泊3日) 6月11日レポート作成

5 事業の自己PR

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを項目ごとにわかりやすく記入してください。)

1	<p>先駆的であり、将来性のある事業であるかどうか。</p> <p>市内^{4/}地臭-これだけの密度で放射能を測ったものはなし。この測定によって放射能の変化が分り、市民に安心感を与える。また若し福島や他の県界に近づくとこのような異常が起れば必ず変化が察知できる。</p>
2	<p>市民のニーズや地域性に適合した特徴のある事業であるかどうか。</p> <p>放射能に対する不安はほとんどの市民、特に子どもを持つ親は持っている。この会の測定値はこれらの人の安心感を与えるものとなっている。</p>
3	<p>事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。</p> <p>測定結果のチラシの印刷配布、例会の開催は会費でまわってきたが福島への現地調査は参加者の負担で実施してきた。この負担はかなり重荷となっている。その後には調査報告書を作成している。</p>
4	<p>事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。</p> <p>白河市内の放射能の強さを知りこれによって放射能によるアレルギーが軽減できると思う。</p>
5	<p>事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。</p> <p>2年の間、自費と募金で活動しており、補助金を得られれば活動の幅も広がられる。</p>

2014年度収入予定	
会費1000円×6人×10カ月	60,000
補助金	50,000
合計	110,000

2014年度支出予定	
市内放射能測定 (印刷・紙代)	30,000
打合せ(資料・室代)	20,000
中央公民館つどい展示用(印刷・紙・インク)	10,000
講演会(謝礼・宣伝)	40,000
福島紀行パンフ作成(印刷・紙など)	10,000
合計	110,000

上記以外に福島現地調査代 100,000 個人・募金で賄う。

チャレンジ補助金の部

吃音サポート『ジークフリーズ』

狛江市長 _____ 様


団体名 吃音サポート『ジークフリーズ』

代表者名 石田 千穂

市民公益活動事業補助金(チャレンジ補助金)申請書 (26年度)

事業名称	言語聴覚士による相談事業					
実施時期(予定)	平成26年6月8日～平成27年3月8日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	<p>内容) 吃音に詳しい言語聴覚士(ST)による無料相談相談を実施する。</p> <p>特色) 成人吃音の相談場所が市内にない。都内でも少なく個人で相談先を見つけるのは困難。期待する効果) 一人で悩んでいる当事者の支援として、孤立状態から一歩を踏み出すきっかけ作り。ご家族や周囲の相談も受け入れ、周囲が吃音理解を深めることでご本人の負担が軽減することも期待できる。</p>					

申込団体概要

団体名	吃音サポート『ジークフリーズ』					
代表者名	石田 千穂					
所在地 (事務所等)	住所	(〒 _____)				
	電話			e-Mail		
	FAX	同上		HP	http://homepagel.nifty.com/he roiga/jiku/jikutop.html	
連絡担当者	氏名	松田 真奈美			電話	
	住所	(〒 _____) 事務所と同じ				
	e-Mail					
会員数	9 人(うち市内 7人)	会費等	無・●有(●年額・ 月額)			500 円
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 (支出総額) 25 年度	400826 円		
主な活動実績	月例会(吃音者のための歌と交流の集い)月1回 女性当事者の交流会年3回 公開吃音学習会(年1回～数回) 地域イベントや福祉施設に出向いての啓発・交流活動					

事業計画書

1、 事業名称 言語聴覚士による個別相談事業

2、 事業の目的

一人で悩み孤立している当事者やご家族の救済。周囲の方に対する正しい理解と対応の支援。

3、 事業の内容

① 実施場所

(言語聴覚士中川信子氏事務所を借用)

② 対象者

吃音のある当事者、ご家族。周囲の方。吃音に関わる専門職の方。

③ 告知方法

団体ホームページでの告知。市内公共施設および自治会回覧板での告知。市内と近隣の公教育機関(学校・相談室等)へのポスター送付。吃音関係機関へのポスター送付。過去の参加者へのメール案内。

④ 具体的内容/事業実施体制

平成26年6月から平成27年3月まで、月例会の実施に合わせて、会場近くの落ち着いた場所で個別相談を実施する。対応は基本的に早坂吃音クリニックの言語聴覚士(以下ST)の早坂菊子先生が対応する。相談料は無料とする。

4、 事業実施スケジュール

平成26年6月、メールでの告知およびポスター製作開始。ポスターは先方のスケジュールを考慮して順次送付する。

平成26年6月から平成27年3月まで毎月第2日曜日の13~17時(1件1時間)、全9回言語聴覚士による無料相談を実施する。

5、 事業の自己PR

1) 先駆的であり将来性のある事業であるかどうか。

吃音は治療法が確立していない。言語・心理・医学・教育等の養成学校でも簡単に触れるだけなので対応できる者が育たない。当事者や保護者は相談場所もなく悩みを抱え、問題が深刻化する場合があります、この状況を早急に改善する必要がある。

本事業で依頼する言語聴覚士の早坂菊子氏は筑波大学、広島大学等での吃音研究と教育、民間支援施設での臨床に携わってこられた吃音の専門家である。

市民活動を専門家に支援して頂くことで支援の充実が期待できる。本事業のような取り組みをしているところは全国でもほとんど類がなく、昨年度の補助事業は全国の吃音関係者から新たな支援のモデルケースとして注目、期待されている。「ボクは吃音ドクターです」著者菊池良和医師からの応援メッセージ。全国言友会連絡協議会主催事業への講演依頼等)

2) 市民のニーズや地域性に適合した特徴ある事業であるかどうか。

昨年と異なるのは、新たに個別相談スペースを確保したことである。昨年初の取り組みとして月例会会場の一角で個別相談を実施したが、グループに参加する引きこもりや就労困難体験者から、「一番悩んでいる時は誰にも会いたくない。相談場所がグループの一角では足が向かない。特に地域の中だと知人に会う可能性があるところは難しい。自分たちはかなりよくなったからこそグループに参加できている。最も困っている方の為なら誰にも会わずに先生とだけお会いできる場所が必要」との意見が多かった。そこで今回は市内の言語聴覚士の協力を得て、個別相談の場所を確保した。

狛江市内には成人吃音に対応する専門機関がない。子どもに関しても小中学校にことばの教室がなく、教育研究所のことば相談も対応件数が多くて吃音まで手が回らない状況がある。参加者に長期引きこもり体験者や就労困難者が珍しくない現状を鑑みると、必要な場である。

3) 事業計画及び収支予算に現実性があり、自助努力の工夫がなされているかどうか。

月例会では参加費を500円徴収しているが、こちらは通常の運営費として必要である。参加費の値上げは学生や就労困難者がいる状況や、他に公的支援機関がない現状を考えるとできない。以上の理由から相談員の人件費、会場使用料、広報費用の援助をお願いしたい。言語聴覚士の1回あたりの謝金は前年と同額としたが、新たに会場費が必要になるので実施回数を1回減らす。

4) 事業の実施により相当の効果が期待できるかどうか。

吃音は2～4歳児の5%（年間16万人）で発症し、そのうち4年以内に自然回復するのは74%、全人口における有病率は1%、120万人と推計される（国立障害者リハビリテーションセンター）。また当会を紹介されて参加する方の中には、吃音以外にも引きこもり、発達障害、神経症など社会的孤立に繋がる問題を抱えていることもある。

引きこもりを経験したことがある、または現在引きこもり状態にある子どもがいる家庭は推計26万世帯（厚生労働省）、若年無業者（ニート）は60万人（厚生労働省）。発達障害や、強迫神経症・パニック障害、うつ病等の病院受診者は近年急増して実態が把握しきれない状況がある。

吃音の支援を充実させていくことがそれ以外の様々な社会問題の支援につながる可能性もあり、本事業はコミュニケーション問題の理解と改善に相当の効果が期待できる。

5) 事業を行う団体が、将来自立して活動できる可能性が期待できるかどうか。

吃音が社会にもっと認知されるようになれば、周囲のまなざしが変わり、吃音者が生活しやすくなるであろう。吃音に関わろうとする専門家（言語聴覚士や心理士）も増え、相談機関が増えるであろう。多様な支援が必要だと周知されれば連携先も増えることが期待できる。私たちは本事業と従来のグループ活動で得られた知見を当事者と社会の双方に還元し、吃音者が暮らしやすい社会を目指していきたいと考えている。

吃音サポート『ジークフリース』

事業収支予算書

収入の部	狛江市市民公益活動事業補助金		200000
	合計		200000
支出の部	言語聴覚士謝礼	18000円×9回	162000
	会場費	500円×4時間×9回	18000
	広報費	個別相談チラシ印刷・送料	20000
	合計		200000

平成26年度 団体 収支予算書

収入の部	前年度繰越金		72712
	会員年会費	9人×500円	4500
	月例会参加費	160人×500円	80000
	アロマの会参加費	30人×1000円	30000
	公開吃音学習会参加費	50人×1000円	50000
	狛江市市民公益活動事業補助金		200000
	あいとびあ助成金		50000
	合計		487212
支出の部	会場費		10000
	資料・機材代		10000
	社会交流活動費		40000
	公開吃音学習会		50000
	雑費		20000
	言語聴覚士による支援事業		230000
	二次的障害の支援事業		60000
	来期繰越金		67212
	合計		487212

(認定NPO法人)

ESAアジア教育支援の会

平成26年 5月 14日

狛江市長 高橋 都彦 様


団体名 (認定NPO法人) ESAアジア教育支援の会

代表者名 浅田 美知子

市民公益活動事業補助金 (チャレンジ補助金) 申請書 (26年度)

事業名称	狛江市の幼児に対する国際理解教育の教材作成					
実施時期 (予定)	平成26年6月～平成27年3月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	ESAはバングラデシュやインドの極貧層の子どもたちに対して教育支援を実施している。現地を訪問する度に多くの学びや気づきがある。その体験を日本人の人々、特に子どもたちに伝えることで海外協力事業の成果を国内に還元したいと考えている。これまで7年間、狛江市立保育園と連携し、年長組対象の「お話会」を実施、子どもたちにアジアの子どもたちの生活を紹介しながら「物の大切さ」や「学ぶことの大切さ」を伝えてきた。この国際理解講座の内容を編集し、今後どの教育機関でも同様の国際理解講座が実施できるような指導マニュアルを作成、配布し、狛江市の国際化に貢献したい。					

申込団体概要

団体名	(認定NPO法人) ESAアジア教育支援の会					
代表者名	理事長 浅田 美知子					
所在地 (事務所等)	住所	(〒)				
	電話			e-Mail		
	FAX			HP	www.esajapan.org	
連絡担当者	氏名	内田 智子		電話	(自宅) (携帯)	
	住所	(〒)				
	e-Mail					
会員数	538 人 (うち市内8人)		会費等	無・④ (年額・月額)		24,000 円
主な活動地域	インド・バングラデシュ		直近事業年度決算額 (支出総額) 25年度	28,988,227 円		
主な活動実績	① バングラデシュ、インド6か所の極貧層の子どもたち約2,200人に対する教育支援及び教育環境整備事業 ② 国内における普及啓発活動、特に教育機関への講師派遣 (2006年から、狛江市藤塚保育園に年6回派遣。)					

申請団体概要書

1. 団体概要

団体名：認定特定非営利活動法人 ESA アジア教育支援の会

Education Sponsorship in Asia (ESA)

所在地：〒

TEL

FAX

<http://www.esajapan.org>

設立：1979年

組織形態：特定非営利活動法人（NPO法人）

法人資格取得年月 1999年12月

認定NPO法人

認定日 2009年9月1日

主な支援内容：教育支援事業、学校建設、備品の提供などの教育環境整備事業、国際理解事業、普及啓発事業

支援活動地域：インド、バングラデシュ

役員数：理事7名 監事2名

スタッフ数：3名

現地コーディネーター：6名

財務：総収入：30,683,547円 総支出：28,988,227円（2013年度決算）

支援者数：教育スポンサー：386名 ESAサポーター：152名 運営会員：40名（2013年12月現在）

2. 活動理念

- 教育こそ、人間の尊厳を守り貧困と差別を克服する大きな力であると考えます。
- 人種、文化、信条、宗教の違い、そして国境を越えて活動をします。
- 支援は現場の声を十分に聞き、彼らが本当に必要とするものは何かを見極め、それに応えていきます。
- 支援は全面支援ではなく、彼らの自助努力をもとに自立する意欲を引き出し、発展を支えます。
- その地域の人々が教育活動を主体的に行えるようになるまで支援を継続します。
- 精神的、物質的分かち合いを通じて、アジアの人々と共に生きる喜びを、日本の人々に広げます。

3. 事業内容

- アジアの貧しい子どもたちが基礎教育や職業訓練などを受けられる教育支援事業
- 教育施設や備品、職業訓練の施設や用具などの教育環境整備事業
- 親や地域住民が教育に理解を深め、向上心を培い、人間にふさわしい暮らしを求める努力ができるよう、生活の改善、収入や福祉の向上を図る事業
- アジアの歴史や文化を学び、社会的問題をはじめ様々な課題がある現状の理解と関心を高め、アジアの人々との友好親善を図る事業
- 支援者とアジアの人々とが精神的、物質的分かち合いを通して地球家族として支え合い、共に生きる喜びを広める事業
- 国内及び海外の同じ目的を持つ関係団体や組織などとの協力

事業計画書

(認定NPO法人) ESAアジア教育支援の会

1 事業名称	狛江市の幼児に対する国際理解教育の教材作成
2 事業の背景	ESAは「講師派遣」プログラムの一環として、国際理解教育を実践するため、狛江市立藤塚保育園に7年間、講師を派遣してきた。幼児を対象とした国際理解講座の実践は大変珍しく、小さな子どもたちに年6回の講座を通して、地理的、歴史的背景の異なる世界の人々の生活に触れる機会を提供している。また、生活環境の整っていない人々の生活との比較から「自分たちの周りにある身近な物の大切さ」を学び、世界の人々が平和に生活できることの大切さも学ぶ。この派遣プログラムは、2013年度、狛江市立の6保育園で実施され、大変好評だった。今後も実施が継続される予定だが、教育現場からは通常保育でもこのような内容の指導を取り入れたいとの希望が示されている。
3 事業の目的	これまで実施してきた幼児向けの国際理解講座を編集し、教材をマニュアル化することで、保育園や幼稚園の職員が、独自に同講座が行えるようにし、狛江市のより多くの保育園や幼稚園で、国際理解教育が実践され、子どもたちの視野が広がることを目的とする。
4. 事業内容	<ul style="list-style-type: none">① 過去7年間、藤塚保育園で実施されてきた国際理解講座（水、衣、食、住、病気、勉強の6回/年）の内容の精査。② 講座内容を各回の指導目的や内容、使用する内容などをまとめ、指導マニュアルを作成。③ 狛江市内の保育園の担当教諭などと共に、指導マニュアル案を最終検討。④ 指導マニュアルを校正、印刷。子どもたちの理解を深めるために、各回で指導に必要な写真を印刷、添付する。⑤ 狛江市内各保育園と幼稚園（希望する幼稚園）に指導マニュアルを配布。⑥ 教材使用方法について、指導マニュアルの使用法の説明会を実施。
5. 事業実施予定	平成26年 6月～12月 教材の取りまとめ。指導マニュアルの作成、印刷。 各保育園、幼稚園に配布。 平成27年 1月～ 3月 指導マニュアルの使用法についての説明会の実施

収支予算書

(認定NPO法人) ESAアジア教育支援の会

<収入>

項目	金額	内訳
狛江市市民公益活動事業補助金	200,000円	
当会事業費	15,000円	
合計	215,000円	

<支出>

項目	金額	内訳
消耗品費	100,000円	印刷紙、インク代、ラミネート用機器及び資材、ファイル等
写真等印刷代	75,000円	500円×15枚×10セット
説明会会場使用料	30,000円	場所未定
通信費	5,000円	マニュアル発送代
交通費・運搬費	5,000円	
合計	215,000円	

活動計算書・予算書

2013年1月1日～12月31日 / 2014年1月1日～12月31日

(単位：円)

科目	2013年度予算		2013年度決算		2014年度予算	
	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業	特定非営利活動に 関わる事業	その他事業
I 経常収益						
1 受取会費						
運営受取会費	1,032,000		1,006,000		984,000	
2 受取寄付金						
受取寄付金・教育スポンサー支援金	11,750,000		12,054,000		12,450,000	
受取寄付金・ESA サポーター支援金	540,000		578,900		600,000	
受取寄付金・テレジア募金	10,000,000		10,454,606		6,000,000	
3 受取補助金等						
受取助成金	300,000		930,300		0	
4 事業収益						
普及啓発事業	90,000		85,715		20,000	
その他事業収益		5,500,000		5,555,493		5,518,000
5 その他収益						
受取利息	10,000		13,343		13,000	
雑収入	3,000		5,190		5,000	
経常収益計	23,725,000	5,500,000	25,128,054	5,555,493	20,072,000	5,518,000
II 経常費用						
1 事業費						
(1) 人件費						
給料手当	2,250,000	80,000	2,163,167	78,141	2,236,000	80,000
法定福利費	39,500	500	19,492	417	19,500	500
保険料	0	6,000	0	6,000	0	6,000
人件費計	2,289,500	86,500	2,182,659	84,558	2,255,500	86,500
(2) その他経費						
教育費	11,700,000	0	12,500,845	0	13,038,000	0
教育環境整備費	1,450,000	0	6,681,969	0	1,600,000	0
海外渡航費	50,000	0	-83,706	0	700,000	0
広報活動費	170,000	30,000	190,307	31,238	215,000	35,000
印刷費	230,000	50,000	216,890	51,500	158,500	51,500
通信費	240,000	80,000	372,032	83,910	304,000	106,000
支払手数料	82,500	0	81,723	0	82,500	0
旅費交通費	340,000	384,000	319,923	384,082	352,000	400,000
諸会費	45,000	0	31,000	0	33,000	0
予備費	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0
物販販売事業費	0	1,163,000	0	1,527,585	0	1,478,000
その他経費計	15,307,500	1,707,000	20,310,983	2,078,315	17,483,000	2,070,500
事業費計	17,597,000	1,793,500	22,493,642	2,162,873	19,738,500	2,157,000
2 管理費						
(1) 人件費						
給料手当	800,000	800,000	558,064	588,478	473,000	473,000
法定福利費	12,000	15,000	7,450	8,887	9,000	9,000
保険料	3,000	0	2,700	0	2,700	0
人件費計	815,000	815,000	568,214	597,365	484,700	482,000
(2) その他経費						
旅費交通費	55,000	55,000	63,928	75,657	62,000	63,000
通信費	33,000	0	49,651	0	40,000	0
会議費	5,000	0	3,500	0	5,000	0
水道光熱費	84,128	75,872	77,674	70,052	80,000	70,000
地代家賃	888,602	801,393	853,110	769,390	820,000	740,000
備品消耗品費	70,000	0	35,214	0	200,000	0
事務費	425,000	75,000	369,622	72,450	425,000	75,000
支払手数料	80,000	1,000	280,923	0	80,000	0
修繕費	20,000	0	4,700	0	10,000	0
新聞図書費	5,000	0	1,080	0	2,000	0
租税公課	5,000	200,000	2,500	192,600	3,000	420,000
雑費	250,000	0	244,082	0	90,000	0
その他経費計雑費	1,920,730	1,208,270	1,985,984	1,180,149	1,817,000	1,368,000
管理費計	2,735,730	2,023,270	2,554,198	1,777,514	2,301,700	1,850,000
経常費用計	20,332,730	3,816,770	25,047,840	3,940,387	22,040,200	4,007,000
当期経常増減額	3,392,270	1,683,230	80,214	1,615,106	-1,968,200	1,511,000
経理区分振替額	1,683,230	-1,683,230	1,615,106	-1,615,106	1,511,000	-1,511,000
当期正味財産増減額	5,075,500	0	1,695,320	0	-457,200	0
前期繰越正味財産額	41,046,188	0	41,046,188	0	42,741,508	0
次期繰越正味財産額	46,121,688	0	42,741,508	0	42,284,308	0

補足説明

本年度から、所轄庁への会計報告書の形式変更に伴い、収支報告書を、NPO法人会計基準に沿った会計報告書（活動計算書）の形式に改めました。その他事業の会計報告も同じ表に表記しております。

◎受取助成金：真如苑（30万円）、公益信託オラクル有志の会（50万円）、公益信託アドラ国際援助基金（13万300円）、いずれも「ゾウさん文庫」イベント実施及び、書籍購入費。

◎教育費：ユニットにおける教育費、給食費、活動費、現地教師などの給料、教師トレーニング費用などが含まれています。

◎海外渡航費：現地調査のための費用。バングラデシュの情勢不安のため、2013年春に予定されていた現地調査がキャンセルとなり、航空券代などの返金がありました。

◎広報活動費：イベント費用など広報に関わる費用

◎通信費：海外との通信費、会員・支援者との通信費、JOY送料

◎支払手数料：海外への教育費送金手数料など。

2013年度支出決算額のうち、事業費と運営費の割合は、事業費85%、運営費15%でした。

2014年度予算の教育費、環境整備費に関しでは、2013年最終営業日の為替レート、1米ドル104.87円、1インドルピー1.86円で計上しています。

狛江・まちづくり市民会議

平成26年5月5日

狛江市長 高橋 都彦 様

団体名 狛江・まちづくり市民会議

代表者名 深井せつ子

市民公益活動事業補助金 (チャレンジ補助金) 申請書 (平成26年度)

事業名称	六郷さくら通りを軸とした快適な、まちづくりプロジェクト					
実施時期 (予定)	平成26年6月4日～平成27年3月31日					
交付要望額	1	4	0	0	0	0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	今回の事業は、六郷さくら通り(旧・六郷用水路跡)の水・緑・歴史を生かした「快適なまちづくり」をめざす計画。街路樹・西河原自然公園等の樹木、水神様・兜塚等の貴重な歴史遺産、そして民家園を中心とした人的ネットワークを生かして、地域住民と共に検討・企画を進めていく活動。					

申込団体概要

団体名	狛江・まちづくり市民会議					
代表者名	深井せつ子					
所在地 (事務所等)	住所	(〒.....)				
	電話		e-Mail			
	FAX		HP			
	連絡担当者	氏名	絹山 達也	電話	(自宅)	
				(携帯)	6	
	住所	(〒.....)				
	e-Mail					
会員数	10 人 市内 10 人	会費等	無・有(月額)	1,000円	円	
主な活動地域	狛江市内全域		直近事業年度決算額	335487		
			(支出総額) 24 年度	円		
主な活動実績	まちづくり条例が規定する「テーマ型まちづくり協議会」や「新しい風」補助金など行政からの支援を受けながら、「歩きたいまち」をテーマに別紙の活動を進めてきました。 ☆2013年度(平成25年度)は、「いちめ通り」が「場」を移す思考する年度としての活動は話し合いのみ。					受付印 受付 26.5.15 狛江市市民生活部 地域活性課

チャレンジ補助金申請書2014・別紙添付書

狛江・まちづくり市民会議

①事業計画書 ②主な活動実績 について の別紙内容は下記の通りです。

①事業計画書

事業計画	<p><u>私たちの会が計画する今回の事業は、六郷さくら通り(旧六郷用水路跡)の水・緑・歴史を生かし、市民がより快適に散策できる「歩きたいみち・六郷さくら通り」をめざし地域住民とともに取り組んでいく活動。</u></p> <p><u>案としては、「水」は六郷用水・民家園南側の用水路跡、「緑」は六郷さくら通りの街路樹・西河原自然公園の樹木、「歴史」は六郷用水・兜塚・万葉歌碑・伊豆美神社・水神様史跡等、</u></p> <p><u>これらを快適な散策路として一体化した構成を市民に分かりやすい形で具現化することを計画している。</u></p> <p><u>また、民家園や西河原公民館は現実に文化の発信地であり、活動する人々が多いことから、人的ネットワークを発生させる仕組みを作る。</u></p> <p><u>その間に位置する児童遊園・西河原自然公園も利用者が多いことから、上記の2施設と共にエリアの一体化を実現したい。</u></p> <p><u>これにより、現在は個別に活動または利用されている民家園・児童遊園・西河原自然公園・西河原公民館で、利用者の相互関係が促進でき(幼児から老人まで)、このエリアがよりいっそう市民の活動拠点となり、また憩いの場として提供されることになる。</u></p> <p><u>まずは、今年度計画は、上記の施設の実態調査、そして地域住民や町会、施設の利用者の方々からの意見調査(ヒアリング)を行い、</u></p> <p><u>拠点整備の実現に向けて活動を開始する計画である。</u></p>
------	---

②主な活動実績

<p>主な活動 実績</p>	<p>まちづくり条例が規定する「テーマ型まちづくり協議会」や「新しい風」補助金など行政からの支援を受けながら、「歩きたいまち」をテーマに次のような活動を進めてきました。</p> <p>2004 年度; 狛江市全域の基本的方向の提案。</p> <p>2005 年度; 上和泉通り・八幡通りの交通量の調査及び緑野小学校前上和泉通りについて具体的な改善の提案。</p> <p>2006 年度; 八幡通りの交通に関する市民意識アンケートを実施。</p> <p>2007 年度; 安全で快適な八幡通りをめざして地域住民と一緒にワークショップを開催。</p> <p>2008 年度; 地域住民と一緒にワークショップで検討しながら、最終提案を作成。</p> <p>2009 年度; 最終提案をもとに市長への提案を提出。いちよう通りについて予備調査実施。</p> <p>2010 年度; 六郷用水を一部復活、活用している世田谷区、大田区、水路敷を活用している旧渋谷川、目黒川界隈を現地踏査。八幡通りについての最終提案に調査費がつき、具体化に向け市と協議。</p> <p>2011 年度; 川・水路を復活・活用している江戸川区・足立区を現地踏査。いちよう通りについて改善試案を作成。それに基づき周辺住民にアンケート調査を実施。</p> <p>2012 年度 いちよう通り地域住民とワークショップ開催。交通量の削減案や緑化活動等を伝える。が、いちよう通り地区は八幡通り地区のように住民が変化を望まない気持ちが強いため、“断念”という苦渋の決断にいたる。</p> <p>2013 年度 活動の方向性を会員全員で話し合う。結果、豊かな</p> <p>水に恵まれた狛江の原点に立ち返り「旧・六郷用水路跡」で活動</p> <p>することに決まる。</p>	
--------------------	---	--

歩きたいまちープロジェクト収支予算書

収入の部

費 目	説 明	金 額
チャレンジ補助金		140,000円
会費収入	@1,000×10人	10,000円
合 計		150,000円

支出の部

費 目	説 明	金 額
会議費	公民館使用料 @300×10月×2回	6,000円
	作業スペース使用料 @2,000×5回	10,000円
印刷・複写費	・ 宣伝費（チラシ代）@8×500部	4,000円
	・ 活動報告書複写費（一部カラー） @1,500×40部	60,000円
	・ 資料コピー代	10,000円
講師代	謝礼	30,000円
文房具費	消耗品費用	10,000円
資料購入費	関連図書	20,000円
合 計		150,000 円

ヘルマンさんの会

狛江市長 高橋 都彦 様


団体名 ヘルマンさんの会

代表者名 飯田 吉明

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成26年度）

事業名称	ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡調査研究と発表					
実施時期（予定）	平成26年6月1日～平成27年3月31日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	日本に初めてドイツ風食肉加工技術をもたらしたヘルマン・ウォルシュケさんは第二次世界大戦後の20数年間狛江に住み、高品質のハム・ソーセージを狛江から日本全国に送り届けていた。その波乱にとんだ生涯を狛江市民に知って頂き、さらに狛江が情報発信基地になることを目指す。またヘルマンさん生誕の地、ドイツ・ゼンフトンベルク市と終焉の地狛江市の間に文化交流を図り、小中学生の教育にも役立てる努力をする。					

申込団体概要

団体名	ヘルマンさんの会					
代表者名	飯田 吉明					
所在地 （事務所等）	住所	(〒: _____)				
	電話	_____	e-Mail	_____		
	FAX	_____	HP	_____		
	連絡担当者	氏名	飯田 吉明		電話	(自宅) (携帯)
	住所	(〒: _____)				
	e-Mail	_____				
会員数	29 人 (うち市内28人)	会費等	無・有	(年額)・月額	1,000 円	
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 (支出総額) 25年度	82,890 円		
主な活動実績	1) 平成26年3月狛江市役所ロビー、泉龍寺仏教文庫ロビーでヘルマンさん関係の貴重な写真を展示。 2) 3月30日泉龍寺仏教文庫講座室でギャラリートーク開催。ヘルマンさん次男家族の参加もあり熱心な対話。					

平成26年度事業計画書

ヘルマンさんの会

事業の目的

平成25年度はヘルマンさんの御遺族より貴重な資料・写真を借用、生涯を概観的にまとめることができた。またこれを写真展・ギャラリートークの形で狛江市民の皆様に提供することができた。

26年度はさらに詳細な調査を進め、年報という形で小冊子にまとめた上、狛江市の公共機関に配布したい。

事業の詳細と実施予定

1. 取材活動

- 1) 狛江市内の関係者・東京都内の食肉加工業関係組織への取材。
5月～12月
- 2) ヘルマンさん生誕の地、ドイツ・ゼンフトンベルク市取材。
7～8月
- 3) 第一次世界大戦の俘虜収容所があった広島県似島、公文書館等の取材。
6～7月
- 4) ヘルマン・ウォルシュケ食品に勤務していた方（軽井沢在住）にインタビュー、あわせて軽井沢にあったヘルマンさんの私的な研究所について町役場で取材。
6月
- 5) 余力のある場合は、群馬県前橋市の子持山学園を取材。10～11月

2. 年報の発行

A4判 32ページの小冊子。余力があればHPを開設して一部を発信。
平成27年3月

3. 途中経過発表会

4月、10月、平成27年1月、3月

平成26年度事業収支予算書

ヘルマンさんの会

(単位 円)

<収入の部>

科目(摘要)	細目	収入	残金	
会費	正会員30名分	30,000		
寄付金		30,000		
狛江市より補助金		200,000		
合計		260,000		

<支出の部>

科目(摘要)	細目	支出	残金	
調査研究年報	A4判32ページ 200部	180,000		
取材雑費	似島、軽井沢、子持山学園取材	7,000		
会場使用料	調査研究会4回	6,000		
調査研究会用資料作成代	インク代、コピー代	10,000		
交通通信費	東京から広島、軽井沢、前橋までの 交通費を含む	57,000		
合計		260,000		

平成26年度予算(案)

平成26年4月1日～平成27年3月31日

ハム・ソーセージでドイツと日本を結んだー
ヘルマン・ウォルシュケさんの足跡をたどる会
(単位 円)

<収入の部>

科目(摘要)	細目	収入	残金	
前年度より繰越		17,118		
会費	正会員30名分	30,000		
寄付金		30,000		
狛江市より補助金		200,000		
合計		277,118		

<支出の部>

科目(摘要)	細目	支出	残金	
調査研究年報	A4判32ページ 200部	180,000		
取材雑費	似島、軽井沢、子持山学園取材	10,000		
会場使用料	調査研究会4回	7,000		
調査研究会用資料作成代	インク代、コピー代	10,000		
交通通信費	東京から広島、軽井沢、前橋までの交通費を含む	67,000		
予備費		3,118		
合計		277,118		

チーム ピース チャレンジャー 狛江支部

2014年5月13日

狛江市長 高橋 都彦 様


団体名 チーム ピース チャレンジャー狛江支部

代表者名 藤田彩知代

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（H26年度）

事業名称	アジア社会（インド・バングラデシュ・ネパール）と狛江市民を繋ぐ“写真展、交流会、フェアトレード展”の開催と冊子作製					
実施時期（予定）	2014年6月～2015年3月					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	アジアのフェアトレード製品紹介とフェアトレードの必要性を狛江市民の方々にお伝えする会合開催。 インド社会を描いた写真展の開催。TPCの活動を紹介する冊子作製フェアトレード展、写真展、交流会の開催、冊子などの紹介により、アジアの経済的に困難な地域の子どもや女性達の生活や社会を市民の方々にお伝えすることが出来ます。市民の方々が、日常生活の中では理解出来ない現地の様子を知ること、国際協力や国際支援を理解できるようになります。同時に今後の市民の方々の生活の変革や意識の向上に役立つよう市民に対して啓発し今後の市民の輪を平和という和で繋げていきたいと思っています。					

申込団体概要

団体名	チーム ピース チャレンジャー狛江支部					
代表者名	藤田彩知代					
所在地 （事務所等）	住所	〒				
	電話		e-Mail			
	FAX		HP	Peace3hse.com		
連絡担当者	氏名	藤田彩知代		電話	(自宅) (携帯)	
	住所	〒				
	e-Mail					
会員数	50人うち(市内8人)		会費等	無(有) (年額・月額)		3000 円
主な活動地域	狛江市		直近事業年度決算額 (支出総額) H24年度	641,361 円		
主な活動実績	市民対象の啓発活動。 ① 講演会＝インド社会、児童労働の実態 ② 国際交流会 ③ フェアトレード展示販売会＝インド、ネパール、バングラデシュ ④ 写真展＝アジアの子どもたちと生活					

2014年5月～2015年3月 事業一覧

チーム ピース チャレンジャー 狛江支部

月日	内 容	参加人数	場 所
6月13日 ～16日	インド、バングラデシュ、ネパール、 タイのフェアトレード展	50名	泉の森会館
7月	国際交流会 “インド平和活動家との交流”	20名	狛江支部
9月20日	“フェアトレード活動について” 現地報告会	20名	ボランティア宅
11月2日	ミュージカルcocoロビー展示販売会	50名	エコルマホール
11月	写真展 “アジアの生活”	50名	地域センター
12月	インド、バングラデシュ、ネパール、 タイのフェアトレード展	41名	泉の森会館
2月	“ボランティア活動の意義とは”	12名	エコルマホール 会議室
3月	ボランティア会	10名	エコルマホール 会議室

2014年 収支予算書(カレシ三補助金)

収 入	金 額	支 出	金 額
売上	145,000		
補助金	200,000		
		使用料 印刷製本費 消耗品費 通信費 備品購入費 報償費 仕入れ 交通費 荷造運搬費	120,000 40,000 40,000 20,000 10,000 20,000 70,000 20,000 5,000
	345,000		345,000

2014 年 予 算 書

チーム ピース チャレンジャー 狛江支部

収 入	金 額	支 出	金 額
会費	20,000	仕入	180,000
売上	340,000		
チャレンジ補助金	200,000		
あいとぴあ補助金	100,000		
フリーマーケット	4,000		
		使用料	120,000
		印刷製本費	120,000
		消耗品費	60,000
		通信運搬費	20,000
		備品購入費	10,000
		報償費	90,000
		交通費	52,000
		通訳費	10,000
		会費	2,000
	664,000		664,000

チーム ピース チャレンジャー 狛江支部

団体概要

団体名	チーム ピース チャレンジャー 狛江支部
団体の種類	国内協力 国際協力 NGO
住所	〒: TEL e-mail : http://peace3hse.com
役員会	支部長 藤田彩知代 会計 秋元晶子
設立	2012年5月1日
年会費	個人 3000円 法人 10000円

設立への思いと活動

アジア地域の人々との交流(ボランティア活動、支援活動)を通して、地球環境、貧困等、国際社会が抱える課題に積極的に取り組み、子ども達の未来のしあわせのために寄与して行く。狛江市では、地域の発展と人々の活性化のため啓発活動を行う。

◎啓発活動の目的：

- ・ 市民の人々が、貧困、平和、戦争等、国際社会が抱える問題に関心を持ち、地域の子どもの教育、若者の未来について、共に考える機会を作る。
- ・ シニア世代の過去の苦勞を体験した人々が、若い世代の人のために、経験や知識を生かし、地域の人材育成のために役立たせる。
- ・ 市内の中で世代を超えた交流が活発な地域作りを目指す。
- ・ 市内に住む外国人への理解と豊かな人間関係を持てる地域作りを目指す。

◎ 活動内容

アジアの人々の生活の上映会・講演会・報告会・交流会・写真展・フェアトレード展開催。
東日本大震災の報告会、写真展の開催。

*誰にでもできる国際協力の活動

収集ボランティア： 家の中の不要品、書き損じハガキ、未使用ハガキ
未使用切手、 タオル、 石鹸、 歯ブラシ、 ボールペン

特定非営利活動法人・バリアフリーセンター

福祉ネット「ナナの家」

平成26年 5月15日

狛江市長 高橋 都彦 様

特定非営利活動法人・バリアフリーセンター

団体名 福祉ネット「ナナの家」

代表者名 皆河 える子

市民公益活動事業補助金 (チャレンジ補助金) 申請書 (26年度)

事業名称	こどもデイサービスの発達支援事業					
実施時期 (予定)	平成26年6月1日～平成27年3月31日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0
事業内容	<p>前は感覚統合に関する遊具や研修会費用を助成していただき、子どもたちの遊びが大変豊かになりました。今回はそこに乗りづらかった静的疾患の子たちも楽しめる備品や絵本を申請させていただき、仲間づくりや、みんなで楽しめるプログラムを増やしていきたいと考えました。</p>					

申込団体概要

団体名	特定非営利活動法人バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」					
代表者名	皆河 える子					
所在地 (事務所等)	住所					
	電話			e-Mail		
	FAX			HP	http://www.nananoie.com/	
連絡責任者	氏名				電話	
	住所					
	e-Mail					
会員数	92人(うち市内55人)		会費等	無	有	(年額・月額) 2000円
主な活動地域	狛江市内					
主な活動実績	<p>児童発達支援及び放課後等デイサービス事業、療法活動(言語、乗馬、音楽)、交流事業(多摩川乗馬会)、家族サポート事業(気功法、鍼灸)、緊急一時保護施設(狛江市委託)</p>					



事業計画書（任意様式）

■こどもデイサービスすてっぷの目標

“明日もまた来たくなる”をキャッチフレーズに、①ほっとできる居場所
②自立に向けたプログラム ③仲間づくり、を目標に活動を行っています。

■こどもデイサービスすてっぷの特徴

知的障がい（発達障害を含む）、身体障がい、難病の子たち、主に小学生から高校生が毎日10人ほど通ってきます。市内に5か所同じ制度の施設がありますが、この豊かなバラエティーは、中でも一二を争います。

■今回の申請内容

事業名：こどもデイサービスすてっぷの発達支援事業

今回は、感覚統合の遊具を揃えさせていただきました。日本を代表する作業療法士による研修会も開き、スタッフばかりか、他団体の方々も一緒に研修することが出来ました。遊具の中の一番人気は、ポーネルド社のサイバーホイールという、回転する大きな乗り物です。調布の島忠や世田谷のRAISEでも子どもたちに大人気です。ところが車いすのA君は、それを見た時、「僕は乗れないな…」とつぶやきました。確かに何人かの子どもたちには無理な遊具でした。

今回は、大型絵本を申請します。大型絵本は、本を読む子、絵本を持つ子、ページをめくる子など、何人もの協力で1冊の絵本を楽しむことが可能になります。みんなが交代で主役を演じることができます。それで図書館から何度も何度も借りてきて楽しみましたが、助成金で子どもたちにぴったりの絵本を数冊選びたいと思いました。そして体をすっぽり囲んで座って参加できるための椅子、寝たままでも参加する子のためのマットやだっこバンドも併せて申請させていただきたいと思いました。椅子とマットは府中の同事業の団体が使っているのを見せてもらい、ぜひ私たちの活動にも入手したいと思いました。また、だっこバンドは災害時の避難にも役立つことができます。

■購入時期

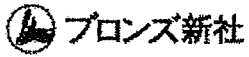
入金し次第。

■期待できる成果

ホームページの活動報告のスペースにアップしていきます。

オープンデイやイベントの雨の日プログラムでも、通所生、その兄弟姉妹、卒業生他、みんなで楽しみたいと思います。みんなで一体感や達成感を得、仲間づくりに一役買うことが期待できます。それは子どもたちの将来に向けても大変貴重な発達支援と言えます。

Bronze Publishing Inc. ©2011 Bronze Publishing Inc. All Rights Reserved.



検索

[トップページ](#) > [本のリスト](#) > [ファーストブック](#) > [【大型絵本】だるまさんと](#)



【大型絵本】だるまさんと

かがくいひろし

定価 5,940円 (本体5,500円+税)

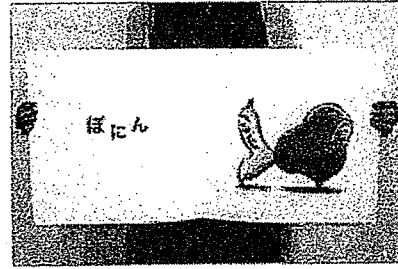
375×375mm 24P 上製 hard cover

ISBN 978-4-89309-531-2 C8771

発行年月 2011/11

『だるまさんと』の大型絵本。いちごさんにばななさん、めろんさん。今回はだるまさんのお友だちも新登場！ ページをめくると、だるまさんと、くだものさんが、あんなことやこんなこと……。わらいがはじけるファーストブック、話題の「だるまさん」シリーズ第3弾です。

この本を購入する [ブロンズ新社で買う](#) [楽天ブックス](#) [amazon.co.jp](#)



草林舎

- 草林舎HOME
- スタッフブログ
- お買い物方法
- サイトマップ
- お問い合わせ

全国どこでも
配送無料!

TOP >> 大型絵本

大型絵本

草林舎は文化・芸術系の貴重本や豪華本等を取り扱っています。

* MENU *

- + 書道
- + 料理
- + 児童向け・幼児向け
- + 手塚治虫作品
- + 大型絵本
- + 紙芝居

ここに掲載されているのは全て大型絵本です。
 大型絵本は通常の絵本よりも大きく、広い場所での読み聞かせにピッタリです。
 中には広げるとメートルを超えるものもあり、その迫力には子どもだけでなく大人も引き込まれる魅力があります。
 大型絵本は在庫僅少の場合もございます。
 また、ここに掲載されていないものでお探しのものがございましたら、お気軽にお問合せください。
 >> ■大型絵本リスト2014年04月更新(PDF)

* Information *

出版社別: 出版社を選択

- + What's new
- + ご挨拶
- + 特定商取引法に基づく表記
- + 支払方法について
- + 配送方法・送料について
- + フライバシーポリシー
- + リンク

* サイト内検索 *

検索

有限会社 草林舎
<http://www.sorinsha.com>

 おぼけのバーバババ 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円	 とべバツタ 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円	 まどからのおくりもの 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円 ☆品切	 はらぺこあおむし 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円
 からすのパンやさん 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円	 月ようびはなにたべる? CD付 出版社: 偕成社 税込販売価格: 11,880円	 すてきな三にんぐみ 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円	 くまのコールテンくん 出版社: 偕成社 税込販売価格: 10,584円
 ともだちや	 もりのかくれんぼう	 おおきなさがほしい	 おおきなさがほしい



こわーいはなし
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,180円
★品切



ことわざのえほん
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,720円



いただきバス
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,180円



ひつじばん
出版社: すずき出版
税込販売価格: 8,640円



すっぽんぽんのすけ
出版社: すずき出版
税込販売価格: 8,640円



たまごにいちゃんぐみ
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,720円



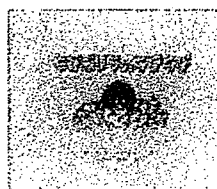
ちゅーちゅー
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,720円



きょうはなんてうんがいいんだらう
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,720円



じゃんけんぽん
出版社: すずき出版
税込販売価格: 9,180円



ちびゴリラのちびちび
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円



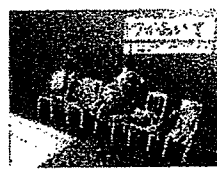
ほくにげちゃうよ
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円



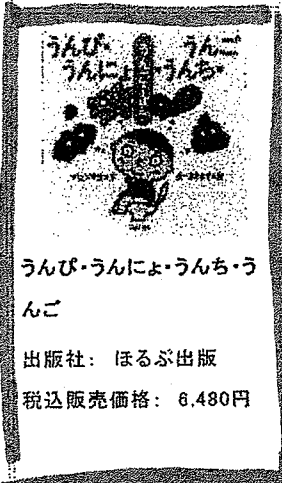
ガンピーさんのふなあそび
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円



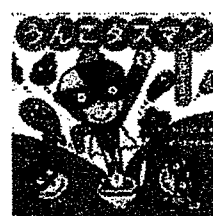
わゴムはどのくらいのおびるかしら?
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円
★品切



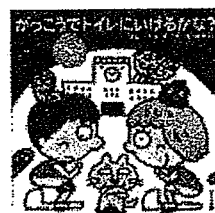
ドアがあいて...
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円



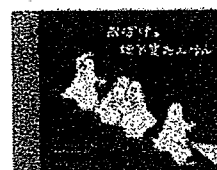
うんぴ・うんによ・うんち・うんご
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円



うんこダスマン
出版社: ほるぶ出版
税込販売価格: 6,480円



がっこうでトイレにいけるかな



おぼけの地下室たんけん



おぼけびょうきになる



だいすきっていいか

2014年05月07日

御見積書

NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット ナナの家 殿 齊藤 様

有限会社でく工房

代表 氏

〒

TEL

FAX

E-mail

いつもお世話になっております。

このたびは御見積のご依頼ありがとうございました。

下記の通り御見積りさせていただきます。

ご検討の程、よろしく願いたします。

担当

桜井

品名	数量	単価	金額	税区分	消費税
無限工房 クッションチェアα Mサイズ ライトボード (小) ※ライトボードは本体と同時購入なら非課税となります	1	66,000	66,000	非課税	0
	1	7,300	7,300	非課税	0
	上記計		73,300		0
	小計		73,300		
	送料				
	見積額		73,300円		

備考:

※この見積の有効期限は3ヶ月です。

書類番号:E0907042 1/1
平成 26年5月8日

御見積書

福祉ネット「ナナの家」様

作成	点検	承認

C05423

テクノツール様

TEL:
FAX:

〒
TEL:
mail.
URL:http://www. ttools. co. jp
担当:

下記のとおり御見積申し上げます

合計 **¥108,432**
(内消費税 ¥8,032)

お支払い条件 : 商品到着後1週間以内支払い
納期 : 2日~1週間
受け渡し場所 : 御指定の場所
有効期限 : 2014/05/22
その他 :

行	内容	型番	数量	単位	標準価格	ご提供価格	金額	備考
1	エアレックスマット (緑)	9339	2	枚	¥53,676	¥53,676	¥107,352	税込
2	送料		1	式	-	¥1,080	¥1,080	税込

注記: ※サイズ: L2000×W1250×H15mm (緑) 約5.5Kg
ご検討のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

御見積書

2014 年 05 月 14 日
御見積番号 000024518

NPO法人バリアフリーセンター福祉ネット 毎度ご愛顧いただきありがとうございます。
・ナナの家 様 2014 年 05 月 07 日 御見積依頼分につき
ご案内いたします。

TEL
FAX
お客様番号

5 月 31 日 まで有効です。

みのは、
担当
TEL
FAX

753-26-03	救護担架SB-180 (G02983)	1	28,000	28,000	
0	お支払方法振込の場合振込手数料別途お客様御負担です	1		0	
0	代引きの場合手数料¥300頂きます	1		0	
お支払い条件			合 計	28,000	消費税 2,240
代引き・振込・その他					30,240

ほっぷヨガ

活動報告 3 4月

乗馬会の準備よ!



☆川崎市立夢パーク☆

♪日常ほのほの風景♪



31にいら

いえーい!

おやつ作り・昼食作り



ポニー上手にのれてるでしょ!

卒業・進級お祝い会



Nana's Newsletter

発行:障害者団体定期発行情報協会 〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21
編集:NPO 法人福祉ネット「ナナの家」 定価 200 円 (税込み)

収支予算書

団体名：特定非営利活動法人
バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」

<収入の部>

項目	金額(円)	内訳
狛江市市民公益活動事業補助金	200,000	
自己負担金	36,272	
合計	236,272	

<支出の部>

項目	金額(円)	内訳
クッションチェア α	66,000	Mサイズ(110~130cm用)
ライトボード	7,300	クッションチェア用簡易テーブル(Mサイズ対応)
救護担架SB-180	30,240	
エアレックスマット933	108,432	53,676円×2枚+消費税
大型絵本	24,300	だるまさんと5940円、月曜日はなにを食べる？11880円、うんぴ・うんによ・うんち・うんご6480円
合計	236,272	

平成26年度 予算書

1 事業会計

特定非営利活動法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」

区分	科目	決算額	備考
収入計		42,002,364	
収入	補助金	1,800,000	
	利用者負担金	3,000,000	1割負担分プラス実費分
	障害児通所給付費	32,000,000	
	寄付金	1,000,000	
	助成金	1,000,000	
	借入金		
	その他事業収入	3,000,000	
	前年度繰越金	202,364	
支出計		42,002,364	
支出	事業費計	35,044,704	
	人件費計	29,050,000	
	給料・賃金	25,000,000	
	法定福利費	3,000,000	
	通勤費	1,050,000	
	旅費	50,000	
	使用料	60,000	
	福利厚生費	450,000	
	消耗品費	500,000	
	光熱水費	250,000	
	修繕費	250,000	
	賃借料(家賃)	1,953,264	家賃 @162,772×12ヶ月 補助対象経費
	その他賃借料	181,440	共益費
	通信費	250,000	
	指導用教材費	450,000	
	事務用品費	400,000	
	支払報酬	350,000	
	会議費	200,000	
	印刷代	150,000	
	車両費	500,000	
	賠償責任保険加入費	14,400	
	その他の保険料	900,000	
	開設準備経費		
	その他の経費	2,000,000	
	借入金返済	3,472,548	
	次年度繰越金	570,712	

* 上記以外、認めている科目があれば、設定可。

ミュージカル CoCo～

狛江市長 様

団体名 ミュージカルCOCO～

代表者名 田部谷 道子

市民公益活動事業補助金（チャレンジ補助金）申請書（平成26年度）

事業名称	市民ミュージカル「ドリーム ギバー（仮題）」上演					
実施時期（予定）	平成26年 11月2日					
交付要望額	2	0	0	0	0	0 円
事業内容 （事業の特色や期待される効果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージカルの上演を行う ・異年齢のメンバーが稽古を積む中でさまざまな交流が生まれる ・出演者だけではなく、スタッフも公募することで多方面にわたって市民間の交流が生まれる ・劇団の10年間の蓄積とプロのスタッフとの連携により他の市民劇団にはみられないクオリティの高いミュージカルを低料金で市民に提供できる 					

申込団体概要

団体名	ミュージカルCOCO～					
代表者名	田部谷 道子					
所在地 （事務所等）	住所	〒 1)				
	電話		e-Mail			
	FAX	同上		HP	http://COCO.her.jp	
連絡担当者	氏名	同上			電話	(自宅) (携帯)
	住所	〒 -) 同上				
	e-Mail					
会員数	25 人（うち市内20人）	会費等	無・有（年額・月額）			5000 円
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 （支出総額） 25年度	1,534,170 円		
主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・週に一度の基礎トレーニング・公開練習（随時） ・各種ワークショップの開催 （パレトン・ボイストレーニング・演劇など） ・近隣のイベントへの参加 					受付印

ミュージカルCOCO〜 H26年度 事業計画書

ミュージカル『ドリーム ギバー (仮題)』上演およびバックステージツアー

バックステージツアー…11/1 (土) 18時 (予定)

ミュージカル上演…11/2日 (日) 1回目 13:00〜 2回目 16:30〜2回公演 (予定)

場所…狛江エコルマホール

演目…ミュージカル『ドリーム ギバー (仮題)』

原作/ロイス・ローリー 脚本/野崎美子・ミュージカルCOCO〜 演出/野崎美子

入場料金…【バックステージツアー】 無料 (小学生以上 事前申し込み 先着 20名程度)

【ミュージカル上演】 全席自由 1000円 (3歳以下無料)

演目について…ドリームギバーとよばれる人間に夢をおくる妖精たちと、夢をみることでつらい現実から少しずつたちなおるきっかけをつかんでいく人間たちの物語。

演者も観客もあたたかい気持ちを共有できるストーリーとなるよう、今回は初めての試みとしてロイス・ローリーの原作を演出家とメンバーが共同で脚本にする

事業実施の目的

* 本公演の実施により、団体としての成長や社会的役割を果たすこと *

- ・一般市民である出演者が、大人も子どもも精一杯力を合わせて稽古を積んでいき、それぞれが日常では得られない体験をすることで、大人子どもの枠をこえて互いに成長できる場を作っていく
- ・コンスタントに上演実績を積むことで団体の力の蓄積となり、次へのステップにつなげる
- ・低料金でも質の高い公演を市内で上演し、ミュージカルに触れる機会がなかった人にも観劇の場を提供する
- ・観に来た地域の人たちが、わずかでも心ふるわせてくださるようメンバーが一体となって力を出し切る
- ・公演前日は会場にてバックステージツアーを実施し、普段では見ることのできない舞台作りの裏側を見る機会を提供することで舞台の世界に興味をもつきっかけを作る
- ・演出助手や衣装などの協力スタッフを一般募集し、地域との交流をひろげる

事業計画

【バックステージツアー】

- ・チラシやHP、情報紙などでより多くの市民に開催を知らせる
- ・仕込み終了後、舞台監督の案内で照明、音響、舞台装置などの説明をうけてもらう
- ・キャストにまじって舞台に立つ体験をする
- ・タイミングが合えばリハーサル見学をする

【ミュージカル上演】

- ・各分野のプロの指導のもと、市内公共施設で稽古をかさねる
- ・チラシや情報紙等による宣伝活動や市内イベントへの参加で、より多くの市民に公演実施を知らせる
- ・家族で気軽に観劇できるよう、入場料は1000円とし、チケット収益は公演経費にあてる
- ・公演終了後は、速やかに撤収作業に取りかかる

ミュージカルCoCo～事業予算案 (2014年 11月公演予算)

収入の部

		金額
狛江市市民公益活動事業補助金		¥200,000
チケット売上(メンバー配布)	1,000円×25人×30枚	¥750,000
チケット売上(一般当日含む)	1,000円×200枚	¥200,000
本会計より補てん		¥755,700
参加費	10,000円×18世帯	¥180,000
合 計		¥2,085,700

支出の部

科目		金額
エコルマ使用料	施設使用料(前年度入金)	¥170,700
	ピアノ・机・椅子など	¥20,000
稽古場使用料	市内公共施設	¥40,000
委託料	演出関係一式(脚本・舞台監督料)	¥450,000
	音響関係一式	¥250,000
	照明関係一式	¥400,000
	音楽関係一式(作曲・演奏料含む)	¥400,000
	振付関係一式	¥150,000
	衣装アドバイザー	¥20,000
	広告デザイン	¥15,000
	大道具	舞台装置
小道具	持ち道具・衣装	¥10,000
印刷費	ポスター・チラシ・台本等	¥50,000
消耗品・雑費	交通費・コピー代・電池・郵送費	¥30,000
スタッフ保険		¥20,000
合 計		¥2,085,700

平成26年度(2014年度) ミュージカルCoCo～予算案

収入の部	前年度繰越金	1,430,922	
	月謝	1,416,000	@5,000円×18名×12ヶ月 @4,000円×7名×12ヶ月
	合計	2,846,922	
支出の部	指導料	600,000	50,000円×12ヶ月
	施設使用料	48,000	4,000円×12ヶ月
	イベント参加費	20,000	
	雑費	40,000	
	公演用費用	1,500,000	
	公演積立金	638,922	
	合計	2,846,922	

ミュージカルCoCo～

11月公演

スタッフ大募集！！



ミュージカルCoCo～は狛江で生まれて育って10年目
今年もエコルマ公演めざしてスタートしました

ボランティア

そこで、このたびはじめて

スタッフさん大募集！！

公演日 2014年11月2日【前日リハーサル】

募集内容

- | | | |
|--------|----------------|------------------------|
| ・演出助手 | …演出内容を記録 | ←稽古になるべく参加できる高校生以上 |
| ・ダンス助手 | …振付内容を記憶 | ←稽古になるべく参加できる中学生以上 |
| ・衣装 | …デザインから衣装を形にする | ←洋裁、小物作りが得意な方 |
| ・ヘアメイク | …舞台メイク等の補助 | ←公演前日と当日には必ず参加できる高校生以上 |

お問い合わせ

ミュージカルCoCo～HP <http://COCO.her.jp>

おにぎり少年団

平成26年 5月 15日

狛江市長 高橋 都彦 様

団体名 おにぎり少年団

代表者名 杉 英恵

市民公益活動事業補助金 (チャレンジ補助金) 申請書 (平成26年度)

事業名称	こども達の自主性を育み地域活性を図る少年団活動
実施時期 (予定)	平成26年6月1日～平成27年3月31日
交付要望額	2 0 0 0 0 0 円
事業内容 (事業の特色や期待される効果等)	<p>狛江周辺の小中学生を中心に、月3回の活動を通し、こども達の考える力や生きる力を養う。その為、こども達は毎月1回の行事に向けて月2回会議を行い、自分達で行事の内容や目標を定めていく。その活動の中で子ども達の父母や地域の方々と協力していき、狛江市全体と交流を持つことで、地域活性に役立てる。</p> <p>今年度は補助金により今まで行えなかった魅力的な行事を行い、少年団の団員増強、高学年の団員の成長・高校生指導員の定着を図りながら、地域とも密に関わって、少年団の成長を目指したい。</p>

申込団体概要

団体名	おにぎり少年団				
代表者名	杉 英恵				
所在地 (事務所等)	住所	(〒)			
	電話		e-Mail		
	FAX		HP		
連絡担当者	氏名	杉 英恵	電話	(自宅) (携帯)	
	住所	(〒)			
	e-Mail				
会員数	27 人 (うち市内 25人)	会費等	無・ <input checked="" type="checkbox"/> (金額・月額)	5300 円	
主な活動地域	狛江市内		直近事業年度決算額 (支出総額)平成25年度	402,931 円	
	主な活動実績 ・平成24・25年度新しい風補助金交付 ・20年に渡る継続的な活動(地域小中学生とともに毎月3回、定期的な活動を行う) ・いずみ児童館ノーベンパフェス、市民まつりに出店 ・狛江のスポーツゴミ拾い・ウォッチングラリーに参加				受付印 受付 26.5.15 狛江市市民生活部 地域活性課

平成 26 年度

子ども達の自主性を育み地域活性を図る少年団活動

主催：おにぎり少年団

今年度の目的

一昨年、昨年と補助金を受けることができ、私達は新しい行事への挑戦、キャンプでの遠出など、少年団活動の幅を広げ、その可能性を感じることができました。しかし、今後も少年団活動を継続していくには、団員数・指導員の増加、地域の協力を得て自立していかなければなりません。そのために少年団の認知度を向上させ、積極的に地域社会と関わっていきます。

今年度も昨年度と同様に補助金を利用することで、参加費を安く抑えます。そうすることでこどもの参加人数と団員数を増加させ、少年団を自立させていきます。

昨年度までの大きな課題として、団員数の総数の増加、主に高学年の団員の増加・定着の問題があります。しかし今年度は昨年度から活動に参加している高学年もおり、また中学年の頃から参加してきた子どもたちも成長してきたことで、少年団の年齢層も徐々に上がってきました。高学年の子どもたちこそ魅力を感じられるような少年団活動、子ども達が自分たちの成長・仲間意識を感じられる場を作ること为目标として、新しい試み・魅力的な行事を行っていきたいと思います。また、子どもの頃から少年団活動を続け、高校生になった新指導員を取り込み、定着させていくことも視野に入れ活動していきます。

今年度は少年団の認知度向上、各行事の充実のためにも更に外部との交流を図っていききたいと思います。狛江市内の広報の活用、地域の方々とも協力しながら、行事を作っていきますので、応援よろしくお願いします。

おにぎり少年団とは…

小学校1年生から中学校3年生までが団員となり、高校生以上の青年が指導員となって、年齢差関係なく、みんなで楽しみながら様々なことを学んでいこうという団体です。おにぎり少年団は月に3回活動しています。月1回の行事のために、2回の団会を通して行事の目標・内容を決定します。

少年団では子どもの自主性を育む為、行事の目標・内容は子どもが決定します。その為子供の中で団長・副団長・書記(以下、三役)という役職を作り、月2回の団会とは別に三役会も行い、行事当日も三役が中心となって、行事を行っています。

少年団の活動を通して、子ども達が考える力・生きる力を養うことを目的としています。

平成 26 年度
年間行事計画

4 月：総会(完了)

役員選出、年間目標・約束、行事の決定。

5 月：工作大会

みんなで材料を持ち寄って自分だけの万華鏡づくりをします。

6 月：釣り

釣りをみんなで楽しみます。大漁になるようみんなで工夫します。

7 月：夏のお楽しみ行事

少年団恒例の宿泊行事。キャンプや民宿へのお泊り体験などが案として出ています。

8 月：青空学校

粕江の小中学生の子どもと一緒に、夏休みを使っていろいろなテーマに取り組む地域の企画です。

9 月：遠足

みんなでどこに行くかを話し合い、楽しく遠出します。

10 月：球技大会

スポーツの秋らしく、体を動かし球技大会を行います。

11 月：市民祭り

お店を出し、店番をして少年団を外部の方にアピールします。

12 月：クリスマス会

ケーキ作り、ゲームなどをしてクリスマスを楽しみます。

1 月：新年会

新年の始めの行事です。書き初めなどお正月らしいことをして楽しみます。

2 月：スキー、スノーボード

去年度からの試み。ウインタースポーツをして楽しみます。

3 月：総括

一年の総まとめの会議を行います。会議の後はお楽しみ企画をします。

《年間行事詳細》

4月：総会(完了)

年間活動報告・役員選出・年間目標・約束、年間行事の決定

指導員だけでなく、子ども達、父母も一緒になって活動内容を決定していきます。

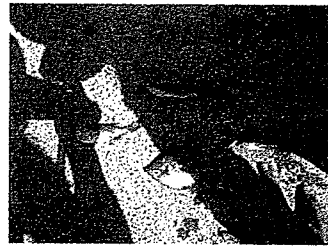
5月：工作大会

子ども達で話し合った作りたいものを決める行事です。

今年はみんなで材料を持ち寄って自分だけの万華鏡づくりをします。

6月：釣り

釣りをみんなで楽しめます。去年はあまり釣ることができなかったので、今年は大漁を目指したい！と子どもの機運も上がっています。どうしたらたくさん釣れるのか、工夫し話し合います。



7月：キャンプ／田舎へ泊ろう

協力や生きる知恵を体で学ぶ行事です。

子ども達にとってあまり経験のない宿泊や、自然の中で生活することは自分の体で考え行動する力をつけるのに大いに役立ちます。今年は去年のキャンプの経験から学んだ、高学年の子ども達もいますので、その子たちを中心に団結できる行事を作りたいと思っています。

少年団にとって夏の宿泊は一大行事なので、参加人数・内容ともに充実するように盛り上げていくことを目指します。



8月：青空学校

夏休みを使って、色々なテーマに取り組みます。

狛江市の小中学生・地域の方々と一緒に作り上げる行事です。

去年度は青空学校リターンズと称して、子ども達に青空学校に親しんでもらうため、過去に行ったイベント(塩の実験・ペットボトル作りなど)を行いました。

今年は開催場所に考慮しながら、地域の方々・父母と協力し、より大きな形での青空学校ができることを目指します。

9月：遠足

夏のキャンプで培った団結力を活かして、みんなで目的地を目指します。

目的地は子供たちで話し合って決めます。一昨年は東京湾まで自転車で行きました。

10月：球技大会

スポーツの秋！というわけで、チームに分かれて対決します。

どんな種目をやるかは子ども達で話し合います。

11月：市民祭り

市民祭りに出店して、外部の方にも少年団の活動を知ってもらうためにアピールします。

新規の団員を増やすチャンスでもあります。

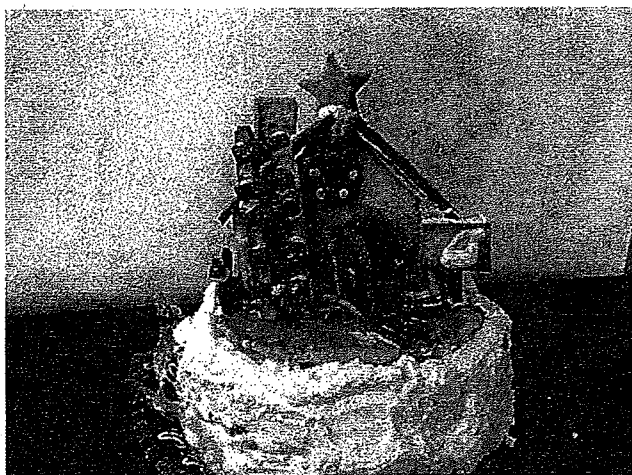
子ども達は店番だけでなく、準備も自分たちで行います。

去年度は参加できませんでしたが、一昨年度は地下駐車場でゴルフ盤とバザーを行いました。

12月：クリスマス会

ケーキ作り、ゲームなどをしてクリスマスを満喫しようという行事です。

去年はお菓子の家づくり、カジノゲームをして遊びました。



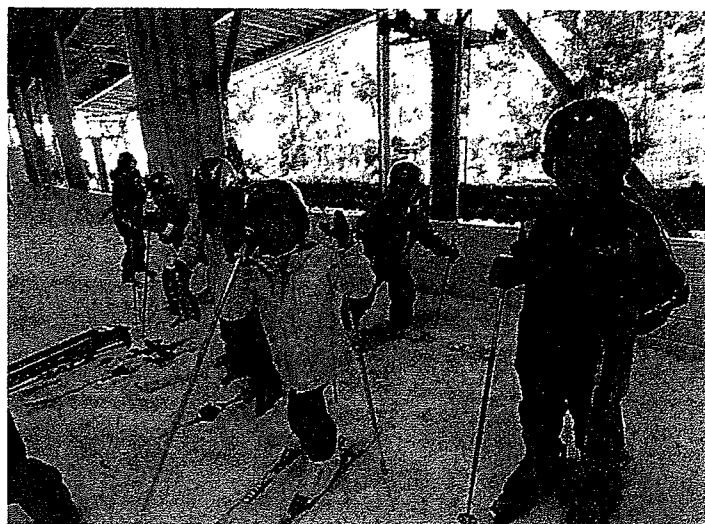
1月：新年会

かるたやお餅つきなど、新年ならではのことをしてお正月を楽しみます。
去年は書き初めを行いました。



2月：スキー、スノーボード

去年度からの試みです。ウィンタースポーツをして楽しみます。
去年の経験を活かして、より楽しい行事になるように子どもたちと話し合います。



3月：総括

役員解任

年間目標・約束の反省

一年間を通した反省会を子どもたちと行います。

自分たちが一年間でどれだけ成長したかを考え、来年につなげます。

平成26年度 おにぎり少年団 会計予算表

(収入の部)

科目	金額	備考
平成26年度団費	68,000	1人月額400円×10か月×団員(子ども)17人分 ※4、5月分は除く
保険加入費	8,500	500円×17人分
キャンプ参加費	100,000	10000円×参加人数を10人と想定
チャレンジ補助金	200,000	
収入合計	376,500	

(支出の部)

科目	金額	備考
材料費	68,000	各事業用材料費
印刷費	15,000	配布資料・ポスター・チラシ等
キャンプ費	250,000	バス借り上げ代・宿泊費・食費等
消耗品費	10,000	資材の購入費用
施設利用費	15,000	
保険加入費	8,500	
常備薬費	10,000	
支出合計	376,500	

